

# 新版 東京都の蝶

西多摩昆虫同好会 編



けやき出版

## 本書の狙いと内容

本書では、東京都のチョウを野外で撮影した写真を主に種別に掲載した。東京都で記録されているチョウは140種だが、このうち120種を東京都で撮影した写真で掲載することができた。雌雄や季節により色彩や斑紋が異なる場合場合は、双方の写真を掲載した。似た種類がいる場合には、種の区別点がわかるような構図の写真を選び、チョウの名前を調べる時の手助けとなるように心がけた。既に絶滅したチョウなど野外で撮影した写真が揃わない種については、東京都で採集された標本がある場合には標本写真で掲載した。

各種ごとに、そのチョウの特徴、生態や分布についての解説文を付けた。また、絶滅したチョウについては「滅びゆくチョウ」の項で解説し、絶滅の要因についても記述した。東京都に定着していないが、時折飛んできたり一時的に発生する種もいて、これらは「飛んできくるチョウ」の項で解説した。

種ごとの詳しい区別点や食草などを更に知りたい方には、「チョウの参考書」で然るべき本を紹介したので参考にさせていただきたい。実際に自分の目でいろいろなチョウを見てみたいと思われる方は「観察地案内」を活用していただきたい。

次に、「東京都のチョウ相」の項では、東京都内を7つのエリアに区分し、エリアごとのチョウ相を解説した。併せて、増えているチョウ、減っているチョウなど、東京都のチョウ相の変遷を解説したので参考にさせていただきたい。さらに詳しく東京都のチョウの分布の実態を知りたい方は「東京都蝶類分布一覧表」を参照していただきたい。この一覧表に洩れている記録が発表されるきっかけとなることを、大いに期待している。